

【平成 23 年度上期 地域密着型金融の取組み状況について】

平成 23 年 12 月 19 日

当金庫の地域密着型金融の推進に対する基本的な考え方は、「自分たちが生まれ、育てられた地域に対しその「責任金融機関」として、地域に対する永続的な使命をいかに果たし続けるか、また、単なる金融支援だけでなく、事業そのものの再生支援の期待が大きいなかで、持続可能な地域経済への貢献を図っていく」ということです。

そのために、

- ①「日本海信用金庫ブランド」確立のため、“顧客満足度の向上”、“社会的責任への対応”、“法令遵守の徹底”
- ②「絆の経営実践のために」として、“地域再生と活性化への積極的な支援”、“地域課題解決への協力”、“地域産業再生への支援”、
- ③「リスク管理態勢の強化とガバナンスの向上」

それぞれ個別項目に対して、さらに強化推進して参ります。

「絆の経営実践」に基づく具体的取組み状況及び実績は以下の通りです。

具体的な取組み項目	平成 23 年度上期の取組み実績
I.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	
■ライフステージ等に応じた取引先企業支援	
①創業・新事業開拓を目指す企業への支援	・技術力・販売力・経営者の資質等を踏まえた新事業の価値の見極め 創業・新事業支援融資実績 【信用保証協会付 3件 74.5百万】 【プロパー 1件 30百万】 ・独立行政法人福祉医療機構との貸付業務委託契約締結 平成 23 年 9 月 29 日付をもって主務大臣の許可を得、平成 23 年 10 月 1 日より当機構の業務の一部を

	<p>委託され取扱いを開始したことを期に、成長分野である医療・介護事業への支援に取り組めます。</p> <p style="text-align: right;">http://hp.wam.go.jp 参照</p>
<p>②成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担保・保証に過度に依存しない融資推進への取組み実績 【「絆」 2件 6百万】 ※ 「絆」は平成 21 年 10 月に、担保・保証に過度に依存せず迅速な対応を可能にした当庫プロパー商品です。 ・流動資産担保融資（ABL 保証制度）の活用に向けた取組み（更新も含む） <li style="padding-left: 20px;">流動資産担保融資（ABL 保証制度）の実績 【2件 極度額 11 百万】 ※ 不動産担保や個人保証に依存しない融資手法として、地元の中小企業の皆様が保有する売掛債権・在庫を担保とすることで、事業資金の確保に向けた商品です。 ・技術開発支援による販路獲得等の支援への取組み <li style="padding-left: 20px;">経済産業省の推進する技術評価等と連携した取組みである「技術事業化評価事業」に係わる覚書を、公益財団法人ちゅうごく産業創造センターと平成 23 年 4 月 27 日締結。企業の技術開発に対する判断材料を提供するものとして活用することで販路の確保等への支援に活用したい。 <li style="text-align: right; padding-right: 20px;">http://www.ciicz.jp/clusterhp/hyouka/index.html 参照 ・海外進出支援への取組み <li style="padding-left: 20px;">中国国内の購買力の高まりを受け、中国での販路拡大を目指した海外進出などを視野に、信金中央金庫が海外業務支援センターを設置しています。当庫の支援体制として、信金中央金庫と交通銀行（中華人民共和国）との間で業務提携しており、本ネットワークを活用した海外支援に取り組んでまいります。 <li style="padding-left: 20px;">また、環日本海時代を迎え国際物流の拠点としての浜田港発展を目指して設立された浜田港振興会に現在 1 名出向しており、これまで計 7 名の出向者によるノウハウを蓄積しています。

<p>③経営改善が必要な企業への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <p>・ 経営支援対象先として、本部 10 先、営業店 19 先の合計 29 先を選定し、審査管理部経営支援課が営業店と連携を図りながら、取引先企業の経営改善計画書策定から以後のモニタリングを通じての助言・指導により取引先の経営改善に積極的に取り組んでいます。</p> <p>経営改善計画書作成が困難な事業先に対し、平成 22 年 12 月 13 日「TKC 経営改善計画策定支援サービスに関する覚書」を締結し、TKC に策定支援を求めることが可能となっています。</p> <p style="text-align: right;">http://www.tkc.jp 参照</p> <p>平成 23 年度上期</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">経営改善選定先の改善計画策定率</td> <td style="text-align: right;">【89.7%】</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">経営改善選定先のランク維持率</td> <td style="text-align: right;">【96.6%】</td> </tr> </table> <p>・ 金融円滑化への積極的な取組み</p> <p>平成 23 年 9 月現在</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">金融円滑化申込み事業先数</td> <td style="text-align: right;">【251 先】</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">うち与信 10 百万円以上のモニタリング対象先</td> <td style="text-align: right;">【167 先】</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">うち経営改善計画書を作成した先</td> <td style="text-align: right;">【117 先】 【策定率 70.1%】</td> </tr> </table> <p>与信 10 百万円以上のモニタリング対象企業 167 先に対し、3 ヶ月に 1 回以上の継続的な面談を通じて経営改善計画策定支援および進捗状況の管理など経営相談・指導を行っています。</p> <p>・ 緊急保証制度融資実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">資金繰り安定化対応資金</td> <td style="text-align: right;">【41 件 581 百万】</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">東北地方太平洋沖地震等緊急対策資金</td> <td style="text-align: right;">【 9 件 99 百万】</td> </tr> </table> <p>・ 中小企業支援ネットワーク強化事業制度の活用</p> 	経営改善選定先の改善計画策定率	【89.7%】	経営改善選定先のランク維持率	【96.6%】	金融円滑化申込み事業先数	【251 先】	うち与信 10 百万円以上のモニタリング対象先	【167 先】	うち経営改善計画書を作成した先	【117 先】 【策定率 70.1%】	資金繰り安定化対応資金	【41 件 581 百万】	東北地方太平洋沖地震等緊急対策資金	【 9 件 99 百万】
経営改善選定先の改善計画策定率	【89.7%】														
経営改善選定先のランク維持率	【96.6%】														
金融円滑化申込み事業先数	【251 先】														
うち与信 10 百万円以上のモニタリング対象先	【167 先】														
うち経営改善計画書を作成した先	【117 先】 【策定率 70.1%】														
資金繰り安定化対応資金	【41 件 581 百万】														
東北地方太平洋沖地震等緊急対策資金	【 9 件 99 百万】														

	<p>平成 23 年 5 月の設立時に参加。上期は取引企業 2 先(宿泊業・自動車钣金塗装業)に取り組んでいます。下期も中小企業が抱える経営課題解決に向け積極的に活用を強化しており、大幅な利用増加が期待されます。</p> <p style="text-align: right;">http://www.chugoku.meti.go.jp/topics/chusho/110524.html 参照</p>
<p>④事業再生や業種転換が必要な企業への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 島根県内最大の漁業基地である浜田港での沖合い底引き網漁業を営む事業者に対し、第二会社方式による企業再生支援機構の支援で存続が図られました。当地域では沖合い底引き網漁業が水揚げするカレイ・ノドグロ等の原材料を加工した干物が代表的な特産物であり、浜田港周辺には水産加工業者が多数集積し一体となって当地域経済を支えています。当庫も地場産業への影響も大きく当地域全体の衰退に繋がりがかねないとの判断で、「地域事業の維持・雇用の確保」を最優先に再生計画に携わりました。 また、今日まで RCC の活用や DDS の先進的な手法にも積極的に取り組んでまいりました。今後も地元の中小企業は、当地域の重要なインフラであるとの考えに基づき、再生についてあらゆる角度から検討し取り組んでまいります。
<p>⑤事業承継が必要な企業への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営者の高齢化により事業承継や後継者不在問題を抱える企業に対し、信金キャピタル㈱と連携したマッチング支援を、支店長を営業店責任者として、情報の機密保持に十分に注意しながら相談に応じています。
<p>■コンサルティング機能能力の強化</p>	
<p>目利き能力、コンサルティング能力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度上期 全信協主催研修「目利き力養成講座」4 名、「企業再生支援実践講座」1 名 中信協主催研修「目利き力養成講座」1 名、「企業再生支援実践講座」1 名 を派遣しました。

II.地域の面的再生への積極的な参画	
①地域を担う若い世代の育成	<ul style="list-style-type: none"> 後継経営者にきちんとバトン渡しをするための環境を作ることが地域再生、ひいては地域活性化に繋がると考え、後継経営者育成塾「せがれ塾」を平成16年11月18日に発足しました、現在の塾生は5期生13名。70名の塾生が卒業し後継者として地域経済の担い手として頑張っています。 今後も実践的なセミナーを開催し後継経営者のための勉強の場、異業種との出会いの場を提供してまいります。
②地域へのCSR活動	<ul style="list-style-type: none"> 島根県下では高齢化率が高く、当地においても高齢者の認知症についてどのようにサポートしていくのか課題となっています。平成23年4月12日 浜田市健康福祉部より講師を招き、108名の職員が「認知症サポート講習」を受け認知症サポーターとしての認定を受けました。 浜田国府海岸において、恒例の一斎清掃活動である日本列島クリーン大作戦（小さな親切運動）に、平成23年6月12日 80名の職員が奉仕参加しました。その他 各営業店では各地域の行事や催し物に積極的に参加しており、地域との絆を深めています。 平成23年9月1日「浜田市がん検診受診率向上プロジェクトに関する協定」を浜田市及びアフラックの3者間で締結しました。がんの早期発見、早期治療に向けたがん啓発・受診勧奨活動の一環として、9月5日～16日迄、アフラック提供の最新資材により『がんを知る展』（本店ロビー）を開催いたしました。 がんの早期発見・早期治療のために浜田市と共にがん検診受診率向上を目指し、がん検診応援定期預金「商品名：メディカルチェック（金利上乘せ商品）」を発売しました。 また、島根県のがん検診啓発協力事業所として登録しており、店内に啓発チラシの設置、管轄保健所や市町村と連携した啓発活動に協力しております。

Ⅲ.地域や利用者に対する積極的な情報発信	
①地域経済への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体による地域貢献として、平成 23 年 3 月 1 日 平成 22 年度中国財務局管内での「有福温泉開発計画への取組み」が、地域活性化へ向けた取組みとして顕彰対象となりました。 本事例は、当地域内にある老舗温泉活性化のため、危機感を抱いた旅館組合の若手メンバーを中心とした「温泉街並開発事業」に対し、当庫も地元金融機関として計画当初より関わり、資金提供のみでなく地方公共団体及び他の協調金融機関と連携して取組んでおります。 <p style="text-align: right;">http://chugoku.mof.go.jp 参照</p>
②ホームページやデスクロジャーを活用した情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアル（平成 24 年 1 月予定）により、地域密着型金融の推進状況を、地域や利用者の皆さんに、よりわかり易いホームページで積極的に定期的に情報発信してまいります。